

全身性エリテマトーデス（SLE）、関節リウマチ（RA）、若年性特発性関節炎（JIA）や炎症性腸疾患（IBD）罹患女性患者の妊娠、出産を考えた治療指針【医師用 CQ】

・本書の目的

現時点でのコンセンサスが得られた適正な診断・治療法を示すこと。

・本書の対象

主に SLE・RA・JIA・IBD の患者診療にあたる医師（内科医、外科医、整形外科医、小児科医など）、およびそれらの合併妊娠に従事する医師（産婦人科医、内科医、外科医、整形外科医、小児科医など）を対象とした。

・責任の帰属

本文の推奨を実際に実践するか否かの最終判断は利用者が行うべきものである。したがって、最終結果に対する責任は利用者に帰属する。

・作成の基本方針

2017 年末までに内外の論文を検討し、本文に記載した内容は、現時点で患者に及ぼす利益が不利益を相当程度上回り、作成委員のコンセンサスを得た内容を記載した。

・本書の構成について

本書には計 11 項目の Clinical Question (CQ) が設けられ、それに対応する推奨文が記載されている。また各推奨文の末尾には推奨度 (A, B, あるいは C) と同意度 (デルファイ法により得た中央値) を記載している。また解説中には推奨文の内容にいたった経緯等が文献番号とともに記載され、最後にそれらの解説の根拠となった文献が示されている。

1) 推奨度について

推奨文の末尾に記載された推奨度は 3 つの推奨レベルを示している。原則として以下のように解釈する。

A: (実施すること等が) 強く勧められる

B: (実施すること等が) 勧められる

C: (実施すること等が) 考慮される

2) 同意度について

同意度とは、各 CQ に対応した推奨文に対して、後述するデルファイ法で行った結果（中央値：1～9 点）を記載している。

3) 推奨文とその推奨度の決定方法

推奨文は、臨床的有用性、エビデンス、浸透度、医療経済的観点、デルファイ法の結果などを総合的勘案し、推奨文の原案を作成し作成委員のコンセンサスを得て推奨度を決定した。

4) デルファイ法による総意形成について

各CQの担当者が作成した推奨文案を、デルファイ法により総意形成を行った。デルファイ法とは、CQに対して作成された推奨文をパネリストが独立して投票し、意見がまとまるまで、その結果を公表しながら繰り返し行うことで、直感的意見や経験的判断を、集約・洗練していく総意形成を図る技法である。本書を作成するにおいては以下のようない形式で、メールを用いて行った。またデルファイ法の結果を推奨文の推奨度・同意度に反映させた。

1. 9段階（1～9点）の中から適切なものを選択して下さい。その際に意見やコメントなどがありましたら記載ください。
2. 事務局で結果を集計し、中央値が7点以上であれば総意形成の成立と判断します。意見が分かれる場合や、コメントの内容によっては、事務局で文言を修正したのち、再度お考えを伺います。

例：CQ1の推奨文案について

推奨文案：活動期にある場合、まず寛解状態に入ってからの妊娠を勧める。

